

47 士会をつなぎ、伝え、創り上げる OT 妙技リレー研修

妙技研修 in 京都

全領域の OT に役立つ



— “妙技”、それは OT ならではの技 —

妙技研修は OTR が培ってきた独自の技の共有と、皆さんのつながりができることを目指しています。皆さんにも科学的・学術的エビデンスは（まだ）ないが、「どうやら確からしい」という技はありませんか。今回は、京都府作業療法士会での取り組みを幾つかご紹介したうえで、それに紐づくグループセッションを企画しました。初参加の方、精神科領域以外（例えば、小児や高齢者）の方も、区分（地域、施設、病院等）に関係なく参画いただける内容です。ご参加を心よりお待ちしております。

【日時】2023年10月7日（土曜日）14時から17時

【会場】京都府民総合交流プラザ京都テルサ

（〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町 70）

東館 2 階 視聴覚研修室

【方法】ハイブリット（定員：対面 50 名、オンライン 80 名）

【参加費】会 員：2,200 円（OT 協会員かつ各都道府県 OT 士会員）

非会員：5,350 円

*参加費には手数料を含みます。



お申し込みサイト
<https://kyotomyougi.peatix.com>

(1) 研修会 10/7（土）14時から17時 受付13時30分より

幾つかの取り組みを紹介した後に、グループセッションを行います。これらを通して得た知見や経験が“妙技”の発展、そして各々の臨床、研究、諸活動における事上磨練の礎になることを期待しています。OT協会生涯教育ポイント付与対象です。

(2) 懇親会 10/7（土）18時から20時（会費制）

京都駅近辺の会場で、美味しい食事や飲み物をいただきつつ、楽しいひと時を皆さんと過ごしたく思います。つながりの契機のひとつとしてもご活用ください。

(3) ツアー 10/8（日）10時 京都駅集合 15時ごろ解散（実費ご負担）

精神科治療発祥の地や京都癲狂院跡等に訪れ、保健・医療・福祉に関する見聞を深めます。移動の合間には、食事を楽しみ、名所旧跡にも立ち寄りませう。

*参加手続き（研修会、懇親会、ツアー）はウェブサイトをご利用ください。定員になり次第募集は締め切りになります。ご希望の方は早めの手続きをお願いいたします。



【主催】京都府作業療法士会社会貢献局公益部 精神科 OT ワーキングチーム

【共催】近畿作業療法士会連絡協議会 精神科 OT ワーキングチーム

【問い合わせ】kyoto.myougi2022@gmail.com 妙技研修 in 京都 事務局

【URL】<https://myougi-kyoto.peatix.com>

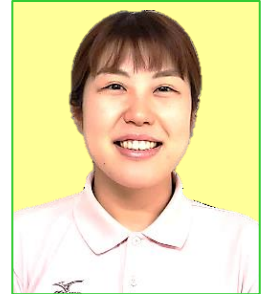
今回の“妙技”（=OTならではの技）研修は・・・

「これは妙技だ！」と新たな方法や考え方を見つけたり、これまでの取組みが「実は妙技だった」と気づいたり、不確かに感じていたかもしれない自分の技を「妙技として認識」できる内容です。京都府作業療法士会の精神科 OT に関連する4つの取組みを紹介した後、セッションテーマに分かれて“妙技”（=OTならではの技）を確認し、再定義します。申し込みの際に希望するテーマを第3希望まで選択してください。グループ分けはご希望に添えない可能性があることをご了承ください。

テーマ1 発達障害とOT

発言者：社会貢献局 こどもサポートOTチーム 足立ひとみ 委員長

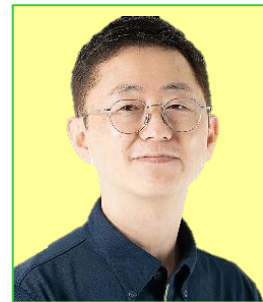
精神疾患の若年化、軽症化、従来型の病像と異なる“新型〇〇”の広がりや症状の長期化が言われている中で、発達障害に伴ってみられる二次的なものとして精神疾患を患われるケースの存在も認知されてきています。そのようなケースに我々が出来る“妙技”とは？領域を超えた連携の在り方とは？



テーマ2 ひきこもりとOT

発言者：社会貢献局 ひきこもり支援OTチーム 児嶋 亮 委員長代理

“ひきこもり”状態にある方に支援出来ることとは？そこに“妙技”はあるのか？入院OTで培ってきた“妙技”は通用するのか？ひきこもり支援の現場からの報告をもとに皆で考えます。



テーマ3 事例検討とOT

発言者：学術局 精神科OT勉強会（SIG）米澤知紀 事務局長

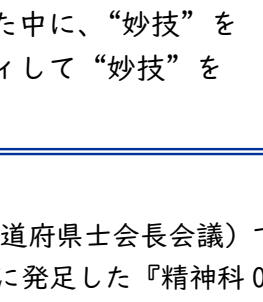
世代を超えて引き継がれてきた精神科OT勉強会（SIG）の取組みを通じて、“妙技を磨く”という視点での事例検討、生涯教育、新人教育、臨床実習の在り方などについて意見を交わします。



テーマ4 訪問とOT

発言者：社会貢献局 POTWチーム京都 百々（どど）昭人 委員

“訪問の作業療法”という言葉が市民権を得るようになってまだ日が浅いところで、日々手探りで先駆的に訪問活動を行ってきた中に、“妙技”を見出すことができるのか？模擬事例を皆でケーススタディして“妙技”を考えます。



妙技研修とは・・・

日本作業療法士協会 47 都道府県委員会（全国の士会長の集まり、現在の協会長・都道府県士会長会議）でつながった、埼玉県、新潟県、千葉県、京都府の各士会の有志4名により、2017年8月に発足した『精神科OTワーキング』が契機でした。このワーキングでは、“精神科OTの現状把握”“各所属士会とOTRとのつながり強化・連携構築”と“精神科OTに関する取組みの活性化”を端緒的目的として、都道府県士会間のリレー研修会を開催することにしました。これが『妙技研修』のはじまりです。

2019年8月⇒埼玉県（対面）、2021年2月⇒新潟（オンライン）で開催され、「次は京都で」と、バトンが渡されました。コロナ禍で去年は開催のタイミングを逃しましたが満を持して2023年10月に妙技研修 in 京都（ハイブリット）を開催します。今までの、そしてこの集まりから生まれた連携の力で、日々の臨床や教育現場、地域での個々の疑問や悩みを解消したり、この研修をリレーすることで精神科OTをより良い方向へと進化させるウェーブが起こることを願っています。今後も、ご当地の精神科OTの取組みやツール等を紹介し、OTならではの技、つまり“妙技”を発掘する試みが続いてゆけばと考えています。

（社会貢献局長 平山 聡）

